

更なる
向上を目指して

産科医療ネットワーク拡充へ

熊本県は産科医療ネットワークの拡充を発表しました。今回どのような取り組みが新たに行われるのかを熊本大学医学部産婦人科学の片渕秀隆教授と大場隆准教授にお尋ねしました。



熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学

教授 片渕 秀隆



准教授 大場 隆

産科危機的出血に対する熊本県の医療ネットワークの構築

分娩の前後に生じる大出血、いわゆる産科危機的出血は妊産婦死亡の主要な原因の1つです。熊本県では産科危機的出血に対して十分な対応ができる高次医療機関は熊本市に集中しています。救急車で搬送されている最中の妊婦さんに十分な診療を行うことは難しく、熊本市外から市内へ搬送されている間に状態が急変することが懸念されていました。このため熊本県および熊本産科婦人科学会、熊本産婦人科医会が協力して熊本県下の中核的医療機関との連携体制を模索した結果、産科危機的出血の状態にある妊婦さんを地域のクリニックから高次医療機関に搬送する際に、いったん地域の中核的医療機関で全身状態を評価し、加療を開始した上で高次医療機関へ搬送することができる体制を整えました。さらに各中核的医療機関の受け入れ担当医師には専用PHSを配備して円滑な受け入れができるようにしました。今後は各地での定期的な研修会、症例検討会を予定しています。